



ボーイスカウト東京連盟  
あすなろ地区広報誌  
第10号

2016年6月11日  
組織拡充委員会

## あすなろ地区年次総会開催

4月28日（木）、平成28年度あすなろ地区年次総会が、西荻センター・勤福会館で開催されました。  
地区年次総会では、高橋地区協議会長、鈴木地区委員長の挨拶に続き、以下の方々の表彰が行われました。

**地区有功記念章**…中野3団 久保田隼和、中野8団 中村俊幸、杉並4団 長田昌史、並木崇大、伊澤聡史、杉並5団 森 宇宙、杉並6団 安達直也、杉並8団 花輪 圭、杉並11団 米田 元、寺田秋夫、山本正夫、三田桃子、杉並12団 森 由佳子 の13名

**地区表彰状**…中野3団 足立郁也、中野8団 河治直樹、清田義隆、中野11団 金田一 良、杉並6団 細川浩史、杉並11団 田中伸幸、杉並12団 北口勝也、豊川士朗、宇川佳子、杉並13団 榎田紀彦、幾代 貴、中村 聡 の12名

**地区感謝状**…昨年夏の世界ジャンボリーで、ポーランドスカウトのホームステイを引き受けられた33家庭に地区感謝状が贈られました。



地区有功記念章の授与



鈴木地区委員長の挨拶



地区感謝状



地区感謝状の授与

続いて議事に入り、平成27年度の事業報告と収支決算報告、28年度の事業計画と収支予算が承認されました。  
平成28年度の地区役員は、地区協議会長に高橋宏人さん、地区委員長に佐藤武信さんが承認され、5月18日（水）開催の臨時団委員長会議にて、以下の方々の就任が承認されました。  
氏名の下線は新任の方です。

地区協議会長：高橋宏人（中7）

地区協議会副会長：岡村 實（杉6）、竹之内 實（杉8）

地区委員長：佐藤武信（杉11）

地区副委員長：中村俊幸（中8）、月出 毅（中11）、並木明直（杉3）、並木俊久（杉4）、村山正己（杉4）

会 計：本間幹人（杉3）、副会計：山中喜美子（杉8）

事務長：並木俊久（杉4）、副事務長：久保田温（中3）

### 【運営委員会】

組織拡充委員長：広瀬治男（杉12）、トレーニング委員長：村山正己（杉4）

進歩委員長：金田一 良（中11）、野営行事委員長：島田雅彦（中5）

安全管理委員長：武藤八朗（中3）

## 原点に戻り、素直な気持ちで見直しを 地区協議会長 高橋宏人

4月28日に開催された地区年次総会で、28年度の地区協議会長に再任されましたので、この誌面をお借りして皆様にご挨拶申し上げます。

平成25年度に地区協議会長に就任してからの3年間を顧みると、3年前と比べて「あすなる地区は理想の峰に少しは近づいたのだろうか?」と自問自答すれば否であり、自身の努力の至らなさに自責の念を禁じ得ません。

毎年のスカウト数の減少や、地区役員及び団指導者の各種地区プログラムの企画、参画への熱意のなさ、元気のなさ等、ボーイスカウトらしからぬ事態が散見されたのも事実でした。その原因はいろいろあるかと考えられます。しかし原因の追及もさることながら、こうした事態をまず打破して、一步でも前へ進むことが、喫緊の課題ではないでしょうか。

それにはあすなる地区に所属している皆様、特に若き指導者が、もう一度「スカウティングの原点であるBPの精神」に立ち戻り、今自分自身が実践しているスカウティングを素直な気持ちで見直すことが重要だと考えます。

自分はスカウティングの本質とはかけ離れた、上っ面だけのスカウティングをやっていないか、現状のままで満足しているふりをしていないかなど、他人ごとと思わず、自問自答して下さい。現実を目を向けると、スカウト数の増も大切ですが、私は今こそ指導者個々の質の向上、レベルアップを図るべき時であると思っています。

具体的に言えば、個々の指導者が日々のスカウティングにおいて、スカウト目線で、自立した行動を責任を持って実践しているかどうかを再度確認して下さい。特に若き指導者には、将来を囑望されるスカウト達への良き手本となるよう、勇気あるチャレンジングな行動と、失敗に挫けない強さを期待します。

それと共に、これからの地区役員グループ及びコミッショナーグループが、アグレッシブでやる気のある体質に変革出来るかが、キーポイントになると考えています。

今後、新任の佐藤地区委員長のリーダーシップのもと、皆様と共に自由闊達な、風通しの良い熱き集団、尊敬、信頼されるあすなる地区を目指して努力していこうではありませんか。厳しい環境下ではありますが、これから一年間、皆様と共に、明るく楽しく元気なスカウティングの実践を目指して頑張りましょう。



## 「ボーイスカウトらしさ」の再構築をそれぞれの役割で図ろう！ 地区委員長 佐藤武信

あすなる地区の隊指導者、団指導者の皆さん、平成28年度の1年間、よろしくお願ひいたします。私は、各団の団委員長はじめ、高橋協議会長、下地地区コミッショナー、地区役員、コミッショナーグループの皆さんと協働して、地区内の16個団のさらなる活性化に取り組んでいきたいと考えております。

地区内各団を活性化するための処方箋は、案外簡単なことだと考えています。

要は「ボーイスカウトらしい」活動の展開と、「ボーイスカウトらしい」立居振舞をそれぞれの役割で積極的に行うこと、と思います。

このため、この1年間は、下記の3点に注力していきたいと思ひます。



### 1. 「ボーイスカウト」ブランドの積極的な発信

- (1) 「ボーイスカウトならではの・・・」を推進
- (2) 各部門のプログラムプロセスに則った隊運営の実施
- (3) 部門別隊合同プログラムの研究と試行

### 2. ローバースカウト及び若手指導者の育成

- (1) 自ら考え・自ら学び・自ら行動できるスカウトおよび指導者の養成
- (2) 「あすなるローバー」のメンバー拡大と活動の充実
- (3) 「エジンバラアワード」取得の支援

### 3. 隊指導者・団指導者へのインサービス・サポートの充実

- (1) 全指導者のスカウトキャンプ研修会修了促進
- (2) 全指導者のスキルトレーニング完修支援
- (3) スキルトレーニング技能を活用する団対抗指導者ラリーの開催

## 鈴木守 前地区委員長 東京連盟名誉役員「参与」に就任

6月10日(金)に開催された東京連盟理事会で、鈴木前地区委員長が東京連盟名誉役員「参与」に就任することが承認されました。理事等の役職を10年以上務められた方が候補者で、任期は3年間です。おめでとうございます。

## 地区コミッショナーに 下地俊一さん(杉並11団)

佐藤地区コミッショナーが地区委員長に就任したことから、地区コミッショナー、地区副コミッショナー、団担当コミッショナーの編成について見直しが行われ、以下の通り地区コミッショナーに下地俊一さん(杉並11団)、副コミッショナーに大原俊さん(杉並5団)、小原 翔さん(杉並13団)、団担当コミッショナーに椎木誠一さん(杉並13団)が新たに就任することになり、6月10日(金)に開催された東京連盟理事会で承認されました。

### 活動の充実を目指して

### 地区コミッショナー 下地俊一

この度、あすなる地区の地区コミッショナーへの就任を仰せつかりました。このような大役を仰せつかるには、まことに微力ですが、地区役員ほか諸先輩のご助言、ご協力をあおぎ、業務に邁進してゆく決意です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、コミッショナーは大きく2つの任務を持っています。一つは、規程に沿った正しい教育を実施するよう、指導者に助言および指導をすること、もう一つは、地区委員会の下でスカウト教育を推進することです。最初の指導に関しては、昨年度までを踏襲するとして、スカウト教育の推進に関しては、今後は地区レベル、可能であればそれ以上の活動を拡充することに注力したいと考えています。

例えば、昨年度はローバー年代では「あすなるローバー」が発足しました。本年度は他地区・他県連との交流が始まることを期待しています。ベンチャー年代では、海外派遣の申請が増えています。他の年代でも「なかのまちめぐり」等で、その元気な姿を披露することでしょう。

平成28年度の東京連盟のスカウト・指導者を合わせた登録者数は1万5千名を切り、昨年度と比較し500名以上減少してしまいました。あすなる地区も若干ではありますが減少しました。

上記のような大きな活動を展開すれば、外部からの注目を浴びるだけでなく、小さい年代は大きい年代の憧れを持ち、減少の歯止めが期待されます。幸い新制服はハット帽であり、昔の印象もあり、一目でボーイスカウトであることがわかります。

コミッショナーグループは副コミッショナー、団担当コミッショナーを含め7名おります。本年度は20代の副コミッショナーも2名誕生しました。その若い力と発想力を生かし、コミッショナーグループ全体で、より強く推進したいと考えております。

以上、就任のご挨拶とさせていただきます。



## コミッショナーグループの役務と担当

コミッショナーグループの担当と役務は、以下の通りとなります。(氏名の下線は新任です)

役 務	氏 名	所 属	担 当
地区コミッショナー	下地 俊一	杉11	総括
地区副コミッショナー	嶋崎 正男	杉5	ビーバー、募集、組織拡充委員会
〃	<u>大原 俊</u>	杉5	カブ、野営行事委員会
〃	<u>小原 翔</u>	杉13	ボーイ、安全管理委員会
〃	飯沼 利雄	杉12	ベンチャー、進歩委員会、信仰奨励
〃 (兼務)	下地 俊一	杉11	ローバー
団担当コミッショナー	沼上 幸一	中8	中野、ラウンド、野外活動計画書・県外旅行申請書、会場確保
〃	<u>椎木 誠一</u>	杉13	杉並、トレーニング委員会、指導者の集い

## 東京連盟年次総会

5月14日（土）、東京連盟の年次総会が国立オリンピック記念青少年総合センターで開催され、下記の方々が県連有功章、県連特別有功章を受章されました。

**県連特別有功章**…杉並12団 菅井千秋

**県連有功章**…杉並6団 猿田真吾、小山昌則、杉並12団 酒井政雄、横川洋子

また、東京連盟の年次総会では東京連盟優良団として、平成27年度と28年度の継続登録時を比較して、スカウトが5名以上増加した団として、あすなろ地区では杉並2団（6名）、杉並9団（11名）が、また平成28年度の継続登録時にスカウトが60名以上の団として、杉並4団（75名）、杉並12団（63名）が紹介されました。

## 日本連盟全国大会で かつこう章を受章

5月28日（土）～29日（日）、平成28年度日本連盟全国大会が宮城県仙台市で開催され、多年にわたる功労により、杉並13団の椎木副団委員長が、日本連盟功労章かつこう章を受章されました。



## 年度初めの運営委員会全体会を開催

5月26日（木）、28年度最初の常設運営委員会全体会が西荻センター・勤福会館で開催され、各団から推薦された各委員会の委員が集まりました。

全体会では佐藤地区委員長より、運営委員会の定期的な開催により、地区委員会情報の伝達の場として活用したいこと、また各委員の積極的な参画により委員としての役割を果たし、委員会として、また地区全体として活発な活動を展開する文化を醸成したいとの要望がありました。

全体会のあと、委員会ごとに集まっての討議、打合せが行われ、各委員会の副委員長として以下の方々が選任されました。

組織拡充委員会…中野 眞治（杉並5団）

進歩委員会 …河治 直樹（中野8団）

野営行事委員会…久保田 温（中野3団）、大原 恭之（杉並5団）

安全管理委員会…大浦 昌久（中野5団）

## 英国エディンバラ公国際アワードの説明会開催

4月23日（土）、中野区中部すこやか福祉センターで、英国エディンバラ公国際アワード説明会が開催され、各団のローバースカウト指導者が参加しました。

英国エディンバラ公国際アワードは、1956年、英国のエリザベス女王の夫である、エディンバラ公フィリップ王配殿下の提唱により、世界レベルの青少年育成プログラムを目指すもので、個人が4つの活動分野（サービス、スキル、体育レクリエーション、冒険の旅）で目標設定を行い、進捗を記録していきます。

ボーイスカウト日本連盟では、ローバースカウトおよび同世代の指導者の自己啓発の目標となり、活性化につながるものとして、平成27年度から英国エディンバラ公国際アワードをプログラムの一つとして提供しており、28年度から本格的に推進されることから開催されたものです。

説明会では、アワードに3つのレベル（ブロンズ、シルバー、ゴールド）があり、アワードリーダーを通じた取得方法などの説明がありました。

なお、アワードの詳細については、日本連盟のホームページに掲載されていますので、参照ください。



## 隼スカウト章、菊スカウト章を受章



4月22日（金）、阿佐谷地域区民センターで開催された地区委員会に先立ち、杉並11団の岡島正昂さん、田中雄大さん、三田史彬さん、三好 賢さんの4名に、鈴木地区委員長より隼スカウト章が手渡されました。



また、6月2日（木）西荻センター・勤福会館で開催されたラウンドテーブルに先立ち、杉並5団の嶋崎翔太さんに菊スカウト章、中野11団の東條雅臣さんに隼スカウト章が、高橋地区協議会長より手渡されました。



## 平成27年度の技能章取得状況



団名	技能章名	件数	団名	技能章名	件数	団名	技能章名	件数
杉並4	環境衛生章	3	杉並12	森林愛護章	1	中野7	測量章	2
杉並5	野営管理章	1		測量章	2	中野8	野営章	1
	伝統芸能章	1		測候章	1		野営管理章	2
杉並11	野営章	4		自転車章	1		救急章	1
	救急章	4		スキー章	1		炊事章	1
	炊事章	4	杉並13	野営章	3	中野11	野営章	1
杉並12	野営章	2		野営管理章	3		救急章	1
	野営管理章	4		救急章	3		炊事章	1
	炊事章	2		炊事章	1		鳥類保護章	1
							合計	52

## スカウト救急法講習会が開催されます

6月26日（日）8：30より、中野消防署本署（中野区中央3-25-3）において、心肺蘇生法やAEDの使用法等を習得する普通救命講習会が開催されます。

また、午後からは南部高齢者会館（中野区南台5-27-24）に移動し、救急章の講習会を行います。

講習会は受講料1,700円、制服着用で、BS・VSスカウトと指導者が対象ですが、定員に達した場合はスカウトを優先となります。申込は6月12日（日）までに、所定の申込書に記入のうえ、金田一良進歩委員長に申込みください。

なお詳細は地区ホームページの「運営委員会」に記載されていますので、参照ください。



写真は27年6月の救命講習会

## ボーイスカウト講習会開催

5月22日（日）、東京連盟第221回ボーイスカウト講習会が西荻センター・勤福会館で開催され、地区内各団の34名が参加して行われました。主任講師は日本連盟副リーダートレーナーの佐藤 成さんです。

講習会では、参加者は5つの班に分かれ、体験を通してスカウト運動の概要とスカウト教育の基本的な方法について学ぶとともに、講義だけではなく、野外活動やゲームなども取り入れて行われました。

当日は晴天に恵まれ、野外でのハイキングは近くの桃井原っぱ広場を利用して行われました。広場では木陰での講義、スカウトカウンセラーサービスのあと、各ポイントをまわり、ロープを使って「宝物」を取り出すゲーム、キムスゲーム、立木間の歩測などを体験して昼食となり、夕方まで熱心に行われました。



開講式での佐藤地区委員長挨拶



全員で集合写真



主任講師の講義



木陰でのセッション



班集会



班集会でのロープワークの練習



スカウトカウンセラーサービス



ハイキングに出発



指定されたポイントに移動



協力して「宝物」をロープで取出し



班毎にみんなで昼食

## ボーイスカウトフェスタ開催 杉並5団

5月15日（日）、杉並5団はカトリック高円寺教会で、教会と一緒にボーイスカウトフェスタ（バザー）を開催しました。教会の中庭には前日からスカウトが丸太で組み立てた見晴らし台が置かれ、来場した子供たちやスカウトが登場していました。

教会の室内、中庭では、衣料品、雑貨、食器、手芸品などが並べられ、飲食コーナーでは、焼きそば、焼き鳥、ちらし寿司、お赤飯、フルーツポンチ、かき氷、クッキー、マドレーヌ、飲みものなどがあり、ゲームコーナーではカブ隊が担当して、ボール投げでペットボトルを倒すゲーム、スーパーボールすくいなどがありました。

会場にはボーイスカウトの体験ができるようにテントも張られ、体験希望の小さな子供たちも集まり、また熊本地震の募金活動もおこなわれました。

当日は高円寺周辺を巡る「杉並チャリティー・ウオーク」が開催され、カトリック高円寺教会の中庭を抜けるコースが設定されていたことから、地図を片手に来られる方も多く、にぎわっていました。



にぎわう会場



堅固な見晴らし台



テントコーナーはキャンプ気分



一日体験に集まった子供たち



熊本地震の募金活動



教会の室内も大にぎわい



焼き鳥コーナー



焼きそばコーナー



スーパーボールすくい



教会内の雑貨、手芸品、食品などの販売コーナー

## ポーランドを訪れ ホームステイスカウトに再会

中野7団 スカウト保護者 漆原敦子

今回春休みを利用して、家族で思いきってポーランド訪問をしてきました。そのきっかけとなったのは、もちろん昨年夏の世界ジャンボリーに参加したポーランド隊スカウトのホームステイを受け入れ、女子高生のゾフィアさんとマリアさんが我が家にホームステイしたからです。

滞在時は近所の銭湯に連れて行き、裸の付き合い？をしたり、浅草や東京ドームシティに案内したら、彼女たちはジェットコースターにはしゃいでいました。最後の夜は自宅の外でプチ花火をして、線香花火をめずらしがっていました。ゾフィアさんはベジタリアンでしたので、肉や魚のないメニューを心がけました。

2泊3日の短い期間でしたが、くまスカウトだった息子をはじめ、家族あげての草の根の国際交流ができて、うれしく感じていました。彼女たちから「いつかポーランドにも来てください」と言われ、こちらも「いつか行きたいです。その時に再会できたらうれしいです」と言って別れました。

私も主人もポーランド語はおろか、英語も片言ですので、彼女たちとは流暢な会話はできなかったのですが、帰国後はマリアさんとは連絡が取れず、ゾフィアさんとはメールで文通して交流を深めました。ゾフィアさんからのメールは辞書をひきながらできましたし、文通を通じてのほうがお互いの交流が深まった気がしています。

現実問題としては、ポーランドは東欧の遠い国ですし、なかなか行く機会はないだろうと思っていましたが、なんと1月からポーランド航空による成田～ワルシャワ間の直行便が新規就航し、旅行会社がポーランド周遊の新規就航記念ツアーを割安で限定企画していることを知り、このタイミングを逃したら一生後悔すると思い、思いきって行くことにしました。

ポーランドでは、ホテルのロビーでゾフィアさんと再会でき、お互いあまり時間がなく、短い再会で心残りでしたが、近くの喫茶店でお茶を飲みながらお話しをすることができました。ゾフィアさんはこちらに気を使ってくれる優しい子で、アートや歴史に興味があるので、その道に進みたいとのこと、次の日は自転車旅行に行くと言っていました。プラムチョコというおいしいチョコをお土産にいただき、滞在時もタブレットのメールでやり取りができて助かりました。

このように、思いきってポーランドを訪問し、ゾフィアさんと再会して交流を深めることができ、また首都のワルシャワや、ショパン、コペルニクス、キューリー夫人の生家なども観光してポーランドの歴史や文化の理解を深めることができたことは、家族にとって非常に有意義で、貴重な経験になりました。この場を借りまして、このご縁をいただきました、あすなる地区関係者の皆様には深く感謝しています。本当にありがとうございました。



昨年8月、我が家でのホームステイ



浅草などを観光案内



ポーランドでゾフィアさんと再会



ワルシャワ王宮



音楽家ショパンの生家



地動説のコペルニクスの生家